

DVD プレーヤー

型名 **XV-P323****XV-B330P**

このたびはビクター製品をお買い上げ いただき、ありがとうございます

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(2～3ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つことでもありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意—はじめにお読みください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ず守っていただきたいことを説明しています。お使いになる前に、よくお読みください。

 警告 「人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容	 注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容
--	--

絵表示の説明			
注意をうながす記号  一般的注意  感電	行為を禁止する記号  禁止  接触禁止  分解禁止  ぬれ手禁止  水ぬれ禁止  水場での使用禁止	行為を指示する記号  一般的指示  電源プラグを抜く	

警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- ・煙が出ている、へんなにおいがするとき
- ・内部に水や異物が入ってしまったとき
- ・落としたり、破損したとき
- ・電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。

分解や改造をしない。
カバーを外さない。
火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

風呂場やシャワー室では使用しない。
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。
通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 特に、次のことに注意してください。
- ・電源コードを加工しない
 - ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない。
 - ・電源コードを熱器具に近づけない
 - ・電源コードの上に家具などの重い物をのせない


電源プラグを抜く

電源プラグは定期的清掃する。
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。
花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。
こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。
感電の原因となります。

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。
頭からかぶると窒息の原因となります。

電池は放置しない。
電池を取り外したときは、幼児の手の届かないところに置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠️ 注意

設置場所に注意する。

次のような所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- ・湿気やほこりの多いところ
- ・直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところ
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない
- ・本箱、押し入れなど風通しの悪い狭いところに押し込まない
- ・テーブルクロスを掛けない
- ・本や雑誌などをのせない
- ・じゅうたんや布団の上に置かない
- ・設置するときは、壁などから10cm以上離す

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かない。
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- ・風通しの悪い狭いところ
- ・バランスの悪い不安定なところ
- ・寒暖の差が激しいところ
本機の使用環境温度は5°C~35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。
- ・磁気を発生するところ
- ・OA機器やけい光灯のすぐそば
- ・振動の激しいところ

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に、接続したテレビやアンプの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

ディスク挿入口に、手を入れない。
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



禁止



禁止



ぬれ手禁止



禁止



電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



一般的指示



一般的指示



手を触れないよう注意

もくじ

はじめに..... 5~8

○ 記号の表示について	5
このマニュアルで使用されている記号	5
ディスクに対する注意.....	5
再生できるディスク	6
リージョン番号(ローカル番号)について	6
テレビ方式について.....	6
フロントパネル	7
リモコン.....	8

接続とセットアップ..... 9~12

接続.....	9
基本の接続.....	9
D 映像端子付きテレビと接続する.....	9
アンプなどとアナログ音声接続する	9
アンプやデコーダーとデジタル音声接続する.....	9
画面表示	10~12
一般的な操作.....	10
設定メニュー	10
言語.....	11
• 画面表示言語.....	11
• ディスク音声/字幕/メニュー言語.....	11
表示.....	11
• 画面アスペクト	11
• 画面モード	11
• プログレッシブ.....	11
音声.....	12
• Dolby デジタル出力/DTS出力/MPEG	12
• サンプリング周波数.....	12
• Dレンジ コントロール.....	12
• ダウンミックス	12

その他	12
• Play Back CTL.....	12
• Black Level(黒レベル拡張)	12

操作..... 13~18

一般的な特長	13
追加の機能	14
オーディオCDまたはMP3/WMAディスクの再生.....	15
プログラム再生	16
リピートプログラムトラック	16
プログラムリストからのトラックの消去	16
プログラムリストを完全に消去する.....	16
JPEGディスクを見るには.....	17
スライドショー	17
静止画像.....	17
他のファイルへ移動	17
ズーム.....	17
画像の回転.....	17
フォト・ミュージック機能	17
DVD-RW VR フォーマット ディスクの再生.....	18

参照..... 19~21

言語コード	19
故障かな?と思ったら.....	20
主な仕様.....	21

はじめに

この製品を適切に使用するためにこの取扱説明書を注意深く読んで今後のために保管してください。

このマニュアルはDVDプレーヤーの操作およびメンテナンスについての情報を提供しています。機器のサービスが必要なときには承認されたサービスマンに依頼してください。

⊙ 記号の表示について

操作中に画面に“⊙”の記号が表示され、この取扱説明書で説明されている機能がその特定のDVDビデオディスクで利用できないと説明することがあります。

このマニュアルで使用されている記号

注記
特定の注意および操作の特徴を示します。

ヒント
操作を容易にするヒントを示します。タイトルが下記の記号を備えている項目はその記号のディスクだけに適用されます。

- ALL** 以下のリストの全てのディスク
- DVD** DVDおよびファイナライズが完了したDVD±R/RW
- VCD** ビデオCD
- ACD** オーディオCD
- MP3** MP3ファイル
- WMA** WMAファイル

ディスクに対する注意

ディスクの取扱い

ディスクの記録面に触れないでください。ディスクを持つ際はディスクの端をつかみ、表面に指紋をつけないようにします。ディスクに紙やテープを貼り付けしないでください。

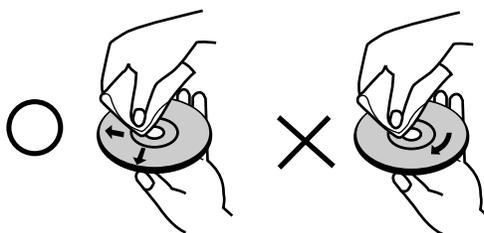


ディスクの保管

使用后、ディスクはケースに保管します。ディスクは直接太陽光や熱源に当てないようにします。また直接太陽光の当たる車内に残さないようにします。

ディスクのクリーニング

ディスクの上に指紋やほこりがあると画質が低下し、音が歪みます。使用前に清潔な布でディスクをクリーニングします。ディスクの中央から外へ向かって拭いていきます。



アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナーまたは古いビニールレコードに使用する静電対策スプレーは使用しないでください。

再生できるディスク

- ・ DVD ビデオ、オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD



- ・ DVD ビデオモードで録画し、ファイナライズされたDVD-R/-RW、+R/+RW ディスク
- ・ VRフォーマットで記録されたDVD-RW(CPRM記録は非対応)
- ・ 以下のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
 - オーディオCD フォーマット
 - ビデオCD フォーマット、スーパービデオCDフォーマット
 - MP3/WMA/JPEG(MP3/JPEG ファイルを再生するとき)

再生できるデジタル音声フォーマット

リニアPCM、ドルビーデジタル、DTS*

お知らせ

- ・ ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ・ 次のディスクは音声のみ再生することができます。CD-G(グラフィック)、CD-EXTRA(エクストラ)、CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE CD。
- ・ ディスクによっては再生できない場合があります。
- * DTS フォーマットで記録されたDVD ビデオやオーディオCDの音声を生しく再生するには、DTS デコーダー搭載機器を接続してください。

再生できないディスク

- 次のディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。
- ・ DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM、SACD、フォトCD
 - ・ ファイナライズ処理されていないディスク
 - ・ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCD など)

本機では、CD 規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。



「デュアルディスク」のDVD 側でない面は、CD 規格(CD-DA)に準拠していないため、本機では再生しないことをおすすめいたします。

リージョン番号(ローカル番号)について

DVD ビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。再生が可能なリージョン番号表示の例:



リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。ディスクのジャケットもご参照ください。

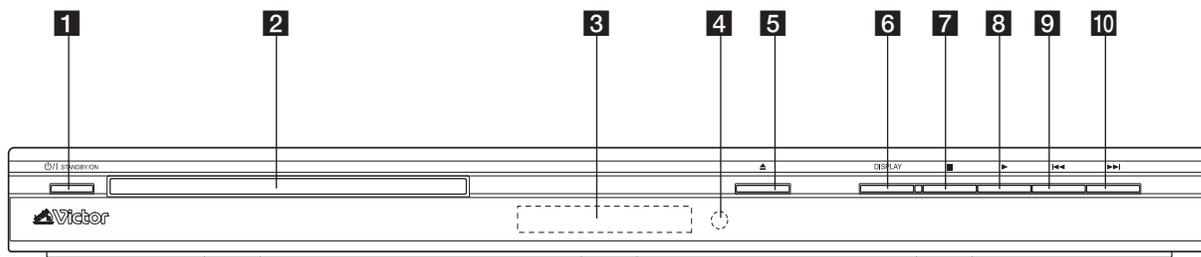
テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式(PAL方式など)で収録されたディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

商標と著作権

- ・ 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・ DTS およびDTS Digital Out は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- ・ ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- ・ DVD ビデオのロゴは商標です。
- ・ 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リパースエンジニアリングは禁止されています。
- ・ 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でもこれを十分尊重いたします。

フロントパネル



- 1** **⏻/⏻** STANDBY/ON (電源)
本機のオンとオフを切り換えます。
- 2** ディスクトレイ
ここにディスクを挿入します。
- 3** 表示窓
プレーヤーの現在の状態を表示します。
- 4** リモコン受光部
リモコンをここに向けます。(操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mです)
- 5** **⏮**(開/閉)
ディスクトレイを開いたり、閉じたりします。
- 6** DISPLAY (画面表示)
画面表示にアクセスします。
- 7** **■** (停止)
再生を停止します。
- 8** **▶** (再生)
再生の開始/再開をします。
- 9** **⏮** (スキップ)
現在のチャプターまたはトラックの始めに戻ったり、以前のチャプターやトラックに移行します。押し続けると早戻し再生になります。
- 10** **⏭** (スキップ)
次のチャプターやトラックに移行します。押し続けると早送り再生になります。

リモコン

電源 (⏻/⏻)
DVDプレーヤーをオンにしたり、オフにしたりします。

開/閉 (⏮)
ディスクトレイを開いたり、閉じたりします。

一時停止/ステップ (⏸)
再生を一時停止します。コマ送り再生する場合は繰り返し押します。

スキップ (⏮/⏭)
次のチャプターやトラックに移行します。現在のチャプターまたはトラックの始めに戻ったり、以前のチャプターやトラックに移行します。

停止 (■)
再生を停止します。

早戻し (⏮)
逆方向にサーチします。

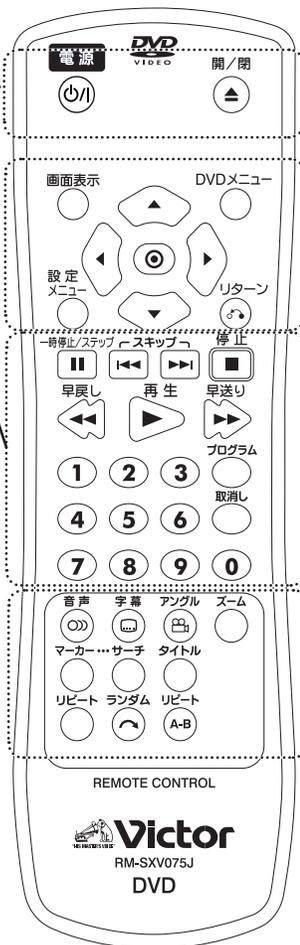
早送り (⏭)
正方向にサーチします。

再生 (▶)
再生を開始します。

0-9 番号ボタン
メニューの番号の付いたオプションについてはその番号を選択します。

プログラム
プログラム編集モードへ入ります。

取消し
マーカーサーチメニューのプログラムリストやマーカー番号を削除します。



画面表示
画面表示にアクセスします。

DVD メニュー
DVDディスクのメニューにアクセスします。

◀/▶/▲/▼ (左/右/上/下)
メニューのオプションを選択します。

⊙ (決定)
メニュー選択を確認します。

設定 メニュー
セットアップメニューにアクセスしたり、消したりできます。

リターン (↶)
メニューから戻ります。
PBC付きのビデオCDのメニューを表示します。

音声 (🔊)
音声チャンネル、または音声で使われる言語を選択します。

字幕 (📄)
字幕言語を選択できます。

アングル (📷)
利用できる場合はDVDカメラアングルを選択します。

ズーム
ビデオ画像を拡大します。

マーカー
再生中にしるしをつけます。

サーチ
マーカーサーチメニューを表示します。

タイトル
必要に応じて、タイトルメニューを表示します。

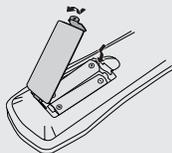
リピート
チャプター、トラック、タイトル、全てをリピートします。

ランダム (🎲)
ランダムにトラックを再生します。
(オーディオCD、MP3、WMA)
再生中に押すと約30秒ぶんを飛ばして再生します。(DVDビデオ)

リピート (A-B)
ポイントAからBの区間を繰り返します。

リモコンを準備する

下図のように付属の単4形乾電池を入れます。電池の極性(+、-)を間違えないように入れてください。



付属の電池は動作確認用です。操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

ご注意

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- ・ 長期間使わないときは、電池を取り出しておく。
- ・ 電池を加熱または分解したり、火や水の中に入れてはいけません。
- ・ 電池を交換するときは、古いものや違う種類の電池を混ぜて使用しない。

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

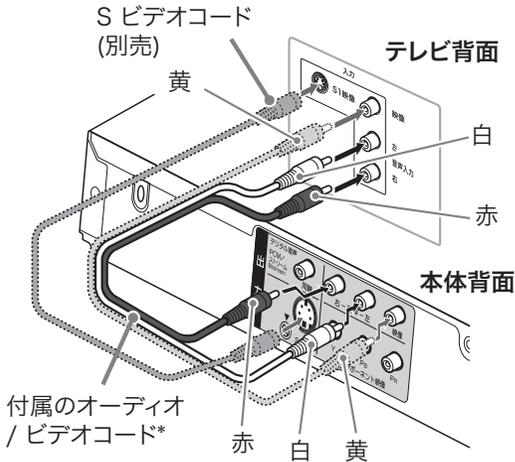
接続とセットアップ

接続

接続時のご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 本機の映像出力は、テレビ(またはモニター)と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、画像が乱れることがあります。

基本の接続



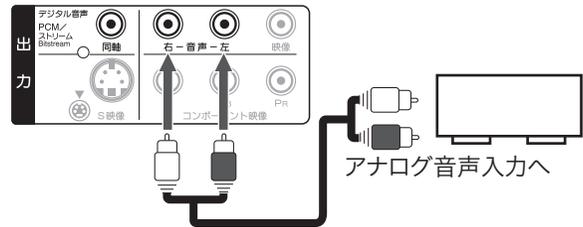
お知らせ

- テレビの音声入力端子がモノラル端子の場合は、別売のステレオモノラル音声変換コードをお使いください。
- ハイビジョンテレビまたはハイビジョン対応テレビをお持ちの場合には、本機をD映像端子で接続できます。D映像端子で接続すると、プログレッシブスキャン方式でより良い画質をお楽しみ頂けます。

別売りのオプション品		
品名	:	品番
・ Sビデオコード	:	VC-S110E など
・ D端子コード	:	VX-DS110 など
・ オーディオコード	:	CN-510E など

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店にてお求めください。品番は変更されることがあります。

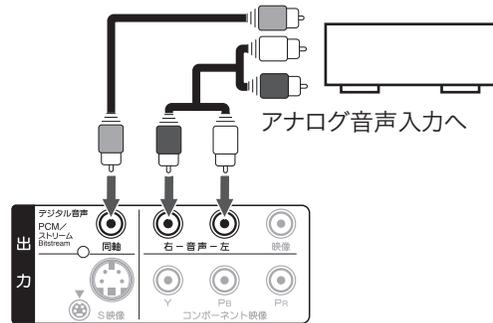
アンプなどとアナログ音声接続する



アンプやデコーダーとデジタル音声接続する

ドルビーやDTSのデコーダー内蔵アンプや専用デコーダーを使って、より本格的な音声をお楽しみ頂けます。

デジタル音声入力へ



D映像端子付きテレビと接続する



スキャンモードを切り換えるには、設定メニューの「表示」内のプログレッシブをオンにします。

お知らせ

- プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビのD端子がD2信号に対応している必要があります。
- D端子を使ってテレビと接続するときは、本機のS映像出力端子はテレビと接続しないでください。

お知らせ

プログレッシブスキャン対応テレビやハイビジョンテレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」方式にしてください。

お知らせ

- ディスクによっては音が出ない事があります。その場合はアナログ音声でお楽しみください。
- 音声メニューの「デジタルOUT」を、接続した機器の搭載デコーダーの種類に合わせて設定してください。詳しくは「設定メニュー」をご覧ください。

画面表示

ディスク情報を画面上に表示

挿入したディスクの各種情報を画面上に表示することができます。

一般的な操作

1. [リモコンの[画面表示]または本体の[DISPLAY]を押して各種再生情報を表示します。表示される項目はディスクタイプおよび再生の状態によって異なります。



2. ▲ / ▼ を押して項目を選択し、◀ / ▶ を押して設定を変更または設定できます。
 - タイトル(トラック) - 現行のタイトル(トラック)番号/タイトル(トラック)の全体の番号。
 - チャプター - 現行のチャプター番号/全体のチャプター番号。
 - 時間 - 経過した再生時間。
 - 音声 - 選択された音声言語またはチャンネル。
 - 字幕 - 選択された字幕。
 - アンクル - 選択されたアンクル/全体のアンクル。

ご注意：

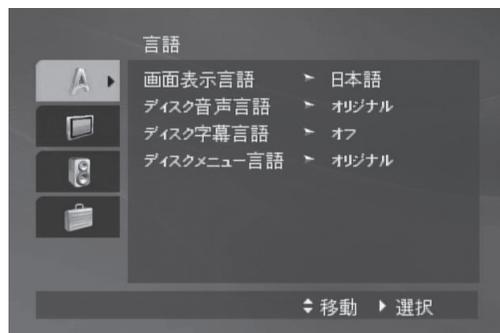
- ・ 画面表示は約10秒後に自動的に消えます。
- ・ 挿入したディスクによっては、上記の 設定を変更できない場合があります。

設定メニュー

お好みに合わせて、または本機の使用状況に合わせて初期設定を変更できます。

一般的な操作

1. 設定メニューを押すと初期設定メニューが表示されます。

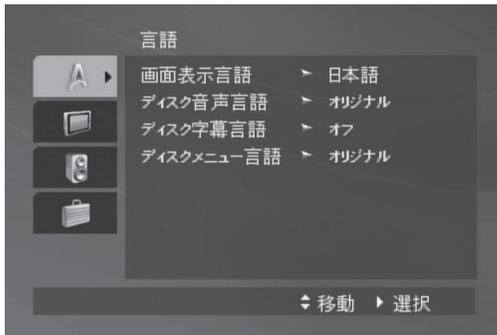


2. ▲ / ▼ を使用して希望のオプションを選択し、▶ を押して第2レベルへ行きます。スクリーンは選択された項目の現行の設定および他の設定を表示します。
3. ▲ / ▼ を使用して第2の希望設定を選択し、▶ を押して第3のレベルへ行きます。
4. ▲ / ▼ を使用して希望の設定を選択し、⊙ (決定) を押して選択を確定します。いくつかの項目によっては追加のステップが必要です。
5. 設定が終わりましたら、設定メニューを押して初期設定メニューを終了します。

ご注意：

- ・ ディスクによっては、設定が働かない場合があります。

言語



画面表示言語

設定メニューと画面表示用の言語を選択します。

ディスク音声 / 字幕 / メニュー言語

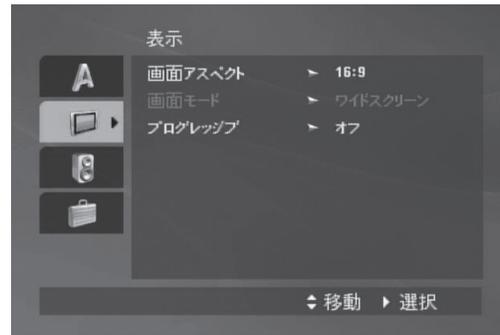
オーディオトラック(ディスク音声言語)、字幕、ディスクメニューの好みの言語を選択します。

オリジナル: ディスクに記録された標準の言語になります。

その他: 画面に表示されていない言語を選択するためには、19ページに示されている言語コード番号に対応した4桁の数字を数字ボタンで入力してから **⓪** (決定)を押します。間違った言語コードを入力してしまったら、取消しを押します。

オフ (ディスク字幕言語): 字幕言語をオフします。

表示



画面アスペクト

4:3: 標準テレビ(4:3)が接続されている場合に選択します。

16:9: ワイドテレビ(16:9)が接続されている場合に選択します。

画面モード

画面アスペクトが4:3に設定されているとき、ワイド画面で収録されたDVDを再生する場合の画面モードを選択できます。

レターボックス: 上下に黒い帯がある状態で映りません。

パンスキャン: 左右両端が切り取られた状態で映ります。
上下に黒い帯は映りません。

プログレッシブ

プログレッシブビデオはちらつきの少ない画面を提供します。

プログレッシブ信号対応のテレビやモニターにD端子またはコンポーネントビデオ端子接続をしている場合は、プログレッシブをオンにします。

音声

各DVD ディスクにはいろいろなオーディオ出力オプションがあります。お使いのオーディオシステムの種類に従い、プレーヤーのオーディオオプションを設定します。



Dolby デジタル出力 / DTS出力 / MPEG

ビットストリーム: Dolby デジタル、DTSまたはMPEGオーディオに対応しているアンプまたはデコーダーにデジタル接続する場合は、“ビットストリーム”を選択します。

PCM (Dolbyデジタル/MPEG): アンプまたはデコーダーがDolbyデジタル、MPEGに対応していない場合に選択します。Dolby デジタルまたはMPEGでエンコードされた DVD は自動的に 2 チャンネル PCMオーディオにダウンミックスされます。

オフ (DTS 対応): “オフ”を選択すると、デジタル出力端子を通してDTS信号は出力されません。

サンプリング周波数

お使いのアンプまたはデコーダーが96kHz信号対応でない場合は、48kHzを選択します。この選択をすると、自動的に96kHz信号を48kHzに変換します。アンプまたはデコーダーが96kHz対応の場合は、96kHzを選択します。アンプまたはデコーダーが96kHz信号に対応しているかは、お使いの製品の説明書を確認してください。

Dレンジ コントロール

映画などのDVDでは、ダイナミックレンジ(最大と最小の音量差)がテレビ放送に比べて大きく収録されています。このため、DVD内のセリフのシーンなどでは、声が小さく聞こえる場合があります。テレビやアンプのボリュームを上げる必要があります。Dレンジコントロールをオンにすると、DVDに収録されているDレンジを小さくし、テレビやアンプのボリュームを下げたままでもセリフなどが聞こえやすくなります。

ダウンミックス

マルチチャンネルカラオケDVDを再生する場合には、ボーカルをオンに設定します。ディスクのカラオケチャンネルは標準ステレオサウンドとミックスされて出力されます。

その他



Play Back CTL

プレイバックコントロール(PBC)で収録されたビデオCDの再生方法をコントロールします。

オン: PBCのビデオCDはPBCによって再生されません。

オフ: PBCのビデオCDはオーディオCDと同じように再生されます。

Black Level(黒レベル拡張)

再生映像の黒の黒さ、黒に近い暗いグレーの表現の調節ができます。DVDに収録された映像の画質、テレビ特有の画質に対応して、お好みで暗いシーンが良く見えるように設定します。

0 IRE: 日本の拡張されたグレースケール (0 IRE セットアップ)

7.5 IRE: アメリカの標準のグレースケール (7.5 IRE セットアップ)

操作

一般的な特長

ボタン	操作	ディスク
開/閉(▲)	ディスクのトレイを開閉します。	ALL
一時停止/ステップ(II)	再生中に一時停止/ステップ(II)を押すと、再生が中断(ポーズ)されます。 フレーム毎に再生(コマ送り)するには、一時停止/ステップ(II)を繰り返し押します。	ALL DVD VCD
スキップ(I◀◀/▶▶I)	再生中、スキップ(I◀◀または▶▶I)を押して、次の章/トラックへスキップ、あるいは現在の章/トラックの始めに戻ります。 スキップ(I◀◀)を二度、短く押すと、前の章/トラックへ戻ります。	ALL
早戻し(◀◀) / 早送り(▶▶)	再生中、早戻し(◀◀)または早送り(▶▶)を繰り返して押して、必要なスキャン速度を選択します。 DVD:4ステップ ビデオCD、MP3、WMA、オーディオCD:3ステップ	ALL
	再生の一時停止(ポーズ)中、早戻し(◀◀)または早送り(▶▶)を繰り返し押して、スローモーションで再生します(4ステップ)。	DVD VCD (順方向再生のみ)
リピート	再生中、リピートを繰り返し押して、必要なリピートモードを選択します。 DVDビデオ ディスク: チャプター/タイトル/オフ ビデオCD、オーディオCD、MP3/WMAディスク:トラック/オール/オフ	ALL
リピート (A-B)	再生中にA-Bボタンを押して、ポイントAとポイントBを選択します。ポイントA(始点)からポイントB(終点)への区間を繰り返し再生します。	DVD VCD ACD
ズーム	再生中または一時停止中にズームを押すと、ビデオ画像を拡大できます。(3ステップ) ◀▶▲▼のボタンを用いて、ズームされた画像を移動できます。取消しを押すと、ズームモードを終了します。	DVD VCD
ランダム (↻)	ランダムにトラックを再生します。(オーディオCD、MP3、WMA) 再生中に押すと約30秒ぶんを飛ばして再生します。(DVDビデオ)	VCD ACD MP3 WMA
タイトル	DVDにメニューがあれば、画面にはそのタイトルメニューが表示されます。DVDにメニューが無いときは、ディスクメニューが表示されます。	DVD
DVD メニュー	画面には、ディスクメニューが表示されます。	DVD
アングル(📷)	いろいろなカメラアングルで録画されたシーンを含んでいるDVDディスクの再生中に、アングルを繰り返して押して、お好みのアングルを選択します。	DVD
字幕(🗨)	再生中に字幕を繰り返して押して、必要な字幕言語を選択します。	DVD
音声(🔊)	再生中に音声を繰り返して押して、別の音声言語あるいは音声トラックを聞きます。	DVD VCD

メモ:

- PBC付きのビデオCDでは、リピート、ランダムあるいはラストシーン機能を使用するためには、設定画面でPBCをオフに設定します(12ページの「Play Back CTL(再生コントロール)」を参照)。
- チャプターリピートまたはトラックリピート再生中にスキップ(▶▶)ボタンを1回押すと、リピート再生はキャンセルされます。
- DVDによってはズームが作動しない場合があります。
- いろいろなカメラアングルで録画されたシーンを含んでいるDVDディスクを再生するときは、アングルの切り替えが可能であることの表示として、操作中にTV画面上でアングルマークが表示されます。
- リピートA-B、リピートはディスクによっては使用できない場合もあります。
- チャプター/トラックが起動後の3秒以内に◀◀が一度押されると、前のチャプター/トラックの再生になります。

追加の機能

タイムサーチ **VCD** **ACD** **DVD**

ディスク上の任意の時間から再生をスタートするには:

1. 再生中に画面表示ボタンを押します。タイムサーチボックスは残りの再生時間を表示します。
2. ▲ / ▼を押してクロックアイコンを選択すると、“-:--”が表示されます。
3. 左から右へスタート時間、時、分、秒を入力します。数字を誤って入力した場合は、取消しボタンを押して入力した数字を削除します。それから正しい数字を入力します。
4. Ⓞ(決定)ボタンを押して確認します。選択された時間より再生がスタートします。

マーカーサーチ **VCD** **DVD**

マーカーを実行するには

最高9つの記憶ポイントより再生をスタートすることができます。マーカーを実行するには、ディスクの希望の位置でマーカーボタンを押します。マーカーアイコンがテレビ画面にしばらく表示されます。繰り返すことで、最高9個のマーカーを記録できます。

マークされたシーンを呼び出したり、クリアするには

1. ディスク再生中にサーチボタンを押します。画面にマーカーサーチメニューが表示されます。
2. 9秒以内に◀ / ▶を押して呼び出したり、クリアしたいマーカー番号を選択します。
3. Ⓞ(決定)ボタンを押すとマークされたシーンより再生がスタートします。もしくは取消しボタンを押すと、リストからマーカー番号が消去されます。
4. マーカーサーチメニューの番号を入力することによってどのマーカーも再生することができます。

リジューム **VCD** **DVD**

ディスクの再生を停止しても、その位置をリジューム(記憶)し、再び再生するとリジュームされたシーンから再生します。

メモ:

停止ボタンを連続で2回押すと、リジュームは解除されません。

スクリーンセーバー/自動電源オフ

DVDプレーヤーの停止状態から約5分間、何も操作しないと、スクリーンセーバーを表示します。スクリーンセーバーを5分間表示したあと、自動的に電源が切れます。

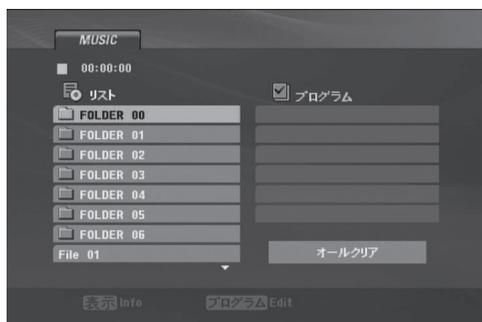
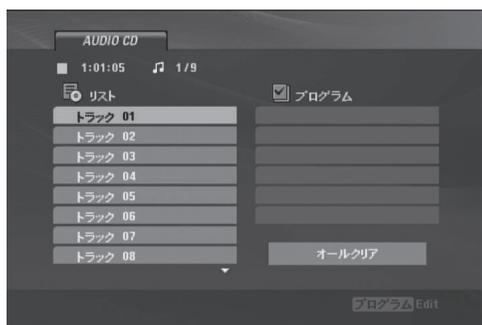
オーディオCDまたはMP3/ WMAディスクの再生

この装置は、MP3/WMAまたはオーディオCDファイルを再生できます。

MP3/WMA/オーディオCD

MP3/WMAファイルが記録されたメディアまたはオーディオCDを挿入するとTVスクリーンにメニューが表示されます。

▲/▼を押してトラック/ファイルを選択し、再生(▶)または⊙(決定)を押すと再生が開始されます。各種再生機能を使用できます。ページ13~14参照。



ID3 タグ

トラックタイトルなどの情報を含むファイルを再生するとき、画面表示を押して情報を見ることができます。[Title, Artist, Album, Year, Comment]

ヒント:

- DVDメニューを押して、次のページに進みます。
- MP3/WMA、JPEGおよびMOVIEファイル付きのCDでは、MUSIC、PHOTOおよびMOVIEのメニューを切換できます。タイトルを押すと、メニューの上部の文字、MUSIC、PHOTOあるいはMOVIEがハイライトされません。

再生できるMP3/WMAは、次のようになります。

- サンプル周波数
MP3: 8 - 48 kHz
WMA: 32 - 48 kHz
- ビットレート
MP3: 8 - 320 kbps
WMA: 32 - 192 kbps
- ディスクにファイルを記録するときは、フォーマットを「ISO 9660」にしてください。
- ファイル名は最大8文字、拡張子を「.mp3/.wma」にしてください。拡張子「.mp3/.wma」以外のMP3/WMAファイルは認識できません。
- 最大ファイル数は650です。
- パケットライト方式(UDF)は使用しないでください。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- ファイル名およびID3タグの情報は、半角英数字にしてください。全角文字、漢字、ひらがな、カタカナなどは文字化けして表示します。

プログラム再生

プログラム機能はディスクのお好みのトラックを、プレーヤーのメモリに保存することができます。

1. オーディオCDまたはMP3/WMAファイルが記録されたメディアを挿入します。[AUDIO CD]または[MUSIC]メニューが表示されます。
2. プログラムを押します。E マークが表示されます。

注意:

もう一度、プログラムを押してプログラム編集モードを終了すると、E マークが消えます。

3. [リスト]上でトラックを選択し、O (決定)を押して選択したトラックを[プログラム]リストに配置します。
4. ▲▼◀▶を使用して、[プログラム]リスト上で再生を開始したいトラックを選択します。
5. 再生(▶)またはO (決定)を押して開始します。プログラムしたトラックの順番に再生が開始されます。[プログラム]リスト上の全トラックが一回再生されると再生は停止します。
6. プログラム再生から通常の再生を再開するためには、リスト上のトラックを選択してから再生(▶)を押します。

リピートプログラムトラック

リピートを選択して希望するリピートモードを選択します。

- Track : 現行のトラックをリピートします。
- ALL : プログラム リスト上の全トラックをリピートします。
- オフ(表示なし) : 繰り返し再生しません。

注記:

リピートトラック再生中に、スキップ (▶▶)を一度押すとリピート再生はキャンセルされます。

プログラムリストからのトラックの消去

1. ▲▼◀▶を使用してプログラムリストから消去したいトラックを選択します。
2. [取消し]を押します。ステップ1~2を繰り返してリスト上の他のトラックを消去します。

プログラムリストを完全に消去する

▲▼◀▶を使用して[オールクリア]を選択し、O (決定)を押します。

注記

電源がオフされるか、またはディスクを取り出したときにはプログラムは全て消去されます。

JPEG ディスクを見るには

この機器は、JPEGファイルを再生できます。

1. JPEGファイルが記録されたメディアを挿入します。
TVスクリーンに[PHOTO]メニューが表示されます。



2. ▲ / ▼ を押してフォルダを選択し、⊙ (決定) を押します。フォルダの中のファイルのリストが表示されます。
3. 特定のファイルを見たいときは、▲ / ▼ を押してファイルを選択して、⊙ (決定) または再生 (▶) を押します。
4. 画像を見ている最中にPHOTOメニューへ戻るためには、停止 (■) を押します。

ヒント:

- フォルダリストから1つ前のフォルダリストに戻りたいときは、リモコンの ▲ / ▼ ボタンを使用して [↶] を選択し、⊙ (決定) を押します。
- DVDメニューを押して次のページへ進みます。
- MP3/WMAおよびJPEGが混在したディスクではMP3/WMAとJPEGを切り替えることができます。タイトルを押すとメニューのトップの[MUSIC]または[PHOTO]が選択されます。
- 画像を見ている最中にヘルプメニューを隠すには、リターン (↵) を押します。

スライドショー

- ▲ ▼ ◀ ▶ を使用して [🎞️] (スライド ショー) を選択し、次に ⊙ (決定) を押します。

ヒント:

- スライドスピードには3つのオプションがあります。
[>>>] (高速), [>>] (ノーマル), [>] (低速)
次に ▲ ▼ ◀ ▶ を使用して [🎞️] を選択します。そして次に ◀ / ▶ を使用して希望のオプションを選択します。

静止画像

1. スライドショーの途中で一時停止/ステップ (⏸) を押します。
再生は一時停止モードになります。
2. スライドショーに戻るには、再生 (▶) または再度 [一時停止/ステップ (⏸)] を押します。

他のファイルへ移動

画像を見ている間にスキップ (⏮ または ⏭) またはカーソル (◀ または ▶) を一回押して次の、または1つ前のファイルへ移動します。

ズーム

画像を見ている間にズームを押してビデオ画像を拡大します (3ステップ)。拡大された画像の中で ◀ ▶ ▲ ▼ を使用して移動できます。

画像の回転

画像を表示中に ▲ / ▼ を押して、画像を時計方向または反時計方向に回転します。

フォト・ミュージック機能

MP3/WMA、JPEGが混在したディスクでは、音楽を聴きながらJPEG画像のスライドショー再生ができます。

1. ディスクを挿入します。
2. タイトルを押して[PHOTO]メニューを表示します。
3. ▲ / ▼ を押して写真ファイルを選択します。
4. ▶ を使用して [🎵] アイコンを選択し、⊙ (決定) を押すと、再生が開始されます。
5. 画像を見ている最中にPHOTOメニューへ戻るためには、停止 (■) を押します。

ヒント

画像を見ながら、希望する音楽だけを聴きたいときは、[MUSIC]メニューから希望するトラックをプログラムし、次に上記の手順を実行します。

このプレーヤーとJPEG ディスクの互換性は次のとおり制限されています。

- JPEG ファイルの大きさと数によって、DVDプレーヤーがディスクの内容を読み取るのに長時間必要な場合があります。画像が表示されるまでに時間がかかったり、表示されない場合は、ファイルサイズが大きすぎる可能性があります。JPEGファイルの解像度を 2760 x 2048 以下にしてください。
- ディスク上の全ファイルとフォルダの数は 650 以下にしてください。
- いくつかのディスクは記録フォーマットの違い、またはディスク条件の違いによって互換性がない可能性があります。
- JPEGの拡張子は「.jpg」にしてください。それ以外の拡張子は認識できません。

DVD-RW VR フォーマット ディスクの再生

DVDレコーダーで録画し、ファイナライズされたDVD-RW VRフォーマットのディスクを再生できます。

1. ディスクを挿入し、トレイを閉じます。スクリーンにDVD-VRメニューが表示されます。



2. ▲/▼ を押してトラックを選択し、次に再生(▶)または⊙ (決定)を押すと再生が開始されます。
3. DVDメニューを押してMOVIEリストメニューへ移動します。

注記

- ファイナライズが完了していないDVD-RWディスクは再生できません。
- CPRM記録されたDVD-RW(VRモード)の再生には対応していません。

「CPRM」とは

CPRMは「一回だけコピー可能」放送プログラムで記録が許可されたコピー保護システムです。CPRMは記録メディアのコンテンツ保護(Content Protection for Recordable Media)の略語です。

参照

言語コード

初期設定の“ディスクオーディオ”、“ディスク字幕”また“ディスクメニュー”の適切なコード番号を入力してください。

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アフハジア語	6566	フィジー語	7074	リンガラ語	7678	シンハリー語	8373
アフアル語	6565	フィンランド語	7073	リトアニア語	7684	スロバキア語	8375
アフリカーンス語	6570	フランス語	7082	マケドニア語	7775	スロベニア語	8376
アルバニア語	8381	フリジア語	7089	マダガスカル語	7771	ソマリシヨナ語	8379
アムハラ語	6577	ガリシア語	7176	マライ語	7783	スペイン語	6985
アラブ語	6582	グルジア語	7565	マラヤーラム語	7776	スーダン語	8385
アルメニア語	7289	ドイツ語	6869	マルタ語	7784	スワヒリ語	8387
アッサム語	6583	ギリシャ語	6976	マオリ族	7773	スウェーデン語	8386
アイマラ語	6588	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	タガログ語	8476
アゼルバイジャン語	6590	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	タジク語	8471
バシキール語	6665	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タミール語	8465
バスク語	6985	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タタール語	8484
ベンガル語	6678	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	タイ語	8472
ビハール語	6672	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	チベット語	6679
ブルターニュ語	6682	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	ティグリニア語	8473
ブルガリア語	6671	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トンガ語	8479
ビルマ語	7789	インターリングア語	7365	イラン語	7065	トルコ語	8482
ペロルシア語	6669	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トルクメン語	8475
カンボジア語	7577	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	トウイ語	8487
カタロニア語	6765	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウクライナ語	8575
中国語	9072	ジャワ語	7487	ラエト語	8277	ウルドゥー語	8582
コルシカ語	6779	カンナダ語	7578	ルーマニア語	8279	ウズベク語	8590
クロアチア語	7282	カシミール語	7583	ロシア語	8285	ベトナム語	8673
チェコ語	6783	カザフ語	7575	サモア語	8377	ボラビュック語	8579
デンマーク語	6865	キルギス語	7589	梵語	8365	ウェールズ語	6789
オランダ語	7876	韓国語	7579	スコットランド高地ゲール語	7168	ウオロフ語	8779
英語	6978	クルド語	7585	セルビア語	8382	ホサ語	8872
エスペラント語	6979	ラオス語	7679	セルボクロアチア語	8372	イディッシュ語	7473
エストニア語	6984	ラテン語	7665	シヨナ語	8378	ヨルバ語	8979
フェロー語	7079	ラトビア語	7686	シンド語	8368	ズールー語	9085

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	改善
電源が入りません。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが接続されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> しっかりとコンセントに電源プラグを差し込みます。
電源はオンになっていますが、DVDプレーヤーが作動しません。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが挿入されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを挿入します。(表示窓の点灯しているディスクインジケータを確認します。)
画像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ入力が切り替わっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビの適切な入力モードを選択すると、DVDプレーヤーの画像がテレビ画面に表示されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ビデオケーブルがしっかりと接続されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> しっかりとビデオケーブルを端子に接続します。
音声が出ません。	<ul style="list-style-type: none"> 音声のケーブルで接続されている機器の入力が切り替わっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> DVDプレーヤーから音が聞けるように正しいオーディオレシーバーの入力モードを選択します。
	<ul style="list-style-type: none"> オーディオケーブルで接続されている機器の電源がオフになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> オーディオケーブルと接続された機器の電源をオンにします。
	<ul style="list-style-type: none"> オーディオオプションが誤った位置に設定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルオーディオ出力を正しく設定し、電源ボタンを押してDVDプレーヤーの電源をもう一度オンにします。
DVDプレーヤーが再生をスタートしません。	<ul style="list-style-type: none"> 再生できないディスクが挿入されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生できるディスクを挿入します。(ディスクタイプ、カラーシステム、地域コードを確認します。)
リモコンが適切に作動しません。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンがDVDプレーヤーのリモートセンサーに向けられていません。 	<ul style="list-style-type: none"> リモコンをDVDプレーヤーのリモートセンサーに向けます。
	<ul style="list-style-type: none"> リモコンがDVDプレーヤーから離れすぎです。 	<ul style="list-style-type: none"> リモコンをDVDプレーヤーに近づけて操作します。

主な仕様

一般

本体電源:	AC 100 V ~ , 50/60 Hz
本体消費電力:	8W
本体外形寸法(およそ):	430 x 39 x 207 mm (幅/高さ/奥行)
本体質量(重さ):	1.5 kg
操作上の温度:	5 °C ~ 35 °C (41 °F ~ 95 °F)
操作上の湿度:	5 % ~ 90 %

出力

映像出力:	p-p:1.0 V 75 Ω (ピンジャック)
S映像出力:	(Y)p-p:1.0 V 75 Ω (C)p-p:0.29 V 75 Ω
D1/D2映像出力:	(Y)p-p:1.0 V 75 Ω (PB/PR)p-p:0.7 V 75 Ω
コンポーネント映像出力:	(Y)p-p:1.0 V 75 Ω (ピンジャック) (PB/PR)p-p:0.7 V 75 Ω (ピンジャック)
音声出力:	-8 dBs 1 kΩ (ピンジャック)
デジタル出力(同軸):	p-p:0.5 V 75 Ω (ピンジャック)

システム

レーザー:	DVDについて	波長: 653 ~ 663 nm 出力: 1.0 mW
	CDについて	波長: 770 ~ 810 nm 出力: 0.4 mW
信号システム:	NTSC	
周波数特性:	DVD (PCM 96 kHz): 8 Hz ~ 44 kHz DVD (PCM 48 kHz): 8 Hz ~ 22 kHz CD: 8 Hz ~ 20 kHz	
全高周波ひずみ率:	0.02% 以下	
ダイナミックレンジ:	95 dB 以上 (DVD/CD)	

アクセサリ

ビデオケーブル(1)、オーディオケーブル(1)、リモコン(1)、乾電池(2)

ご注意

- ・ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本機は日本国内のみ使用できます。外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This DVD Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社					●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。 S.S.はサービスステーションの略称です。				
都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地	都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道									
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29	千 葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	旭川S.C.	(0166)25-2533	〒070-0035	旭川市5条通17丁目1439番地1		東日本コールセンター	(03)5803-2888	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27
	北見S.S.	(0157)25-8557	〒090-0037	北見市山下町4-7-19		【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	釧路S.S.	(0154)24-0797	〒085-0005	釧路市松浦町3-3		千葉S.C.	(043)202-0263	〒260-0013	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	帯広S.S.	(0155)24-4493	〒080-0806	帯広市東6条南12-11		柏S.C.	(04)7175-4322	〒277-0863	柏市豊四季512-10-67
函館S.S.	(0138)52-5324	〒040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F	浦安S.C.	(047)353-6189	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27		
東北									
青森	青森S.C.	(017)723-2261	〒030-0844	青森市桂木4-6-17	東 京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	八戸S.S.	(0178)44-4521	〒031-0803	八戸市諏訪2-2-36		東日本コールセンター	(03)5803-2888	〒279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	〒020-0836	盛岡市津志田西二丁目3-20		【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	〒010-0953		秋田市山王中国町4-1	本郷S.C.	(03)5684-8254	〒113-0033
秋田	大館S.S.	(0186)43-0980	〒017-0874	大館市美園町5-6		練馬S.C.	(03)3993-7520	〒176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	〒984-0011	仙台市若林区六丁目の目西町7-13	大田S.C.	(03)5748-3701	〒146-0082	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
山形	山形S.S.	(023)642-0279	〒990-2412	山形市松山3-12-18	八王子S.S.	(042)646-6914	〒192-8620	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター(株)八王子工場 第4棟	
	福島	郡山S.C.	(024)952-6331	〒963-0205	郡山市堤1-3	【業務用機器専門】のご相談窓口			
関東・甲信越									
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口				埼 玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	(025)241-4003	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27		東日本コールセンター	(03)5803-2888	〒279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口					【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	〒950-0084	新潟市中央区明石1-2-19	大宮S.C.	(048)654-5241	〒331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1	
	長岡S.S.	(0258)24-8391	〒940-0012	長岡市下下条2-1366-1	神 奈 川				
長野	【出張修理専門】のご相談窓口				神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	東日本コールセンター	(026)221-7607	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27		東日本コールセンター	(03)5803-2888	〒279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口					【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
長野	長野S.C.	(026)221-6583	〒380-0913	長野市川合新田962-1	横浜S.C.	(045)450-6211	〒221-0031	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F	
	松本S.S.	(0263)25-9165	〒390-0828	松本市庄内2-4-21	相模原S.C.	(042)776-2052	〒229-0004	相模原市古淵3-7-4	
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口				海老名S.C.	(046)234-4500			
	東日本コールセンター	(027)255-5982	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27		海老名市東柏ヶ谷6-19-26			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口					【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	〒371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F	静 岡				
	【出張修理専門】のご相談窓口				静岡	静岡S.C.			
東日本コールセンター	(028)635-2938	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27	静岡S.C.		(054)282-4141	〒422-8043	静岡市駿河区中田本町 62-31 中田ビル1階	
栃木	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				沼津S.S.	(055)922-1557	〒410-0041	沼津市筒井町6-5	
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	〒321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22	浜松S.S.	(053)421-3441	〒435-0041	浜松市東区北島町785	
東海・北陸									
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口				愛知	名古屋S.C.			
	東日本コールセンター	(029)246-0590	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27		名古屋S.C.	(0568)25-3235	〒481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口					岡崎S.C.			
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	〒310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター(株)水戸工場技術棟1F	三河S.C.	(0564)25-0321	〒444-0913	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室	
	【出張修理専門】のご相談窓口				豊橋S.S.	(0532)64-0815	〒440-0028	豊橋市多米東町1丁目1-1	
山梨	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				岐阜S.S.	(058)274-1947	〒500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28	
	甲府S.S.	(055)237-4016	〒400-0864	甲府市湯田2-11-5	三重S.S.	(059)352-0841	〒510-0076	四日市市堀木2-15-2	
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口				富山	富山S.S.	(076)425-2397	〒939-8211	富山市二口町4丁目1-3
	東日本コールセンター	(055)227-5773	〒279-0001	浦安市当代島2-13-27	石川	金沢S.C.	(076)269-4821	〒921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口				福井	福井S.S.	(0776)53-6916	〒910-0843	福井市西開発3-211	

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近 畿				
滋 賀	滋 賀S.S.	(077)582-5812	〒524-0033	守山市浮気町268
京 都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京 都S.C.	(075)644-0247	〒612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	〒620-0057	福知山市間屋町47番地市場ハイツA1F ウチノ電子株式会社内
奈 良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈 良S.S.	(0742)35-0935	〒630-8115	奈良市大宮町六丁目3-10 藤本ビル1階
大 阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)6304-5731	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	〒591-8032	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	〒640-8323	和歌山市太田430-8
	田 辺S.S.	(0739)22-9976	〒646-0031	田辺市湊1581-12
兵 庫 中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	〒532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神 戸S.C.	(078)252-0562	〒651-0083	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30 三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫 路S.S.	(079)234-3833	〒670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中 国				
岡 山	岡 山S.C.	(086)243-1566	〒700-0926	岡山市西古松西町8-23
広 島	広 島S.C.	(082)243-9839	〒730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福 山S.S.	(084)931-6984	〒721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山 口	山 口S.S.	(083)973-3708	〒754-0022	山口市小郡花園町5-28
山 陰				
島 根	松 江S.C.	(0852)31-8900	〒690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥 取	鳥 取S.S.	(0857)23-2151	〒680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四 国				
香 川	高 松S.C.	(087)866-1200	〒761-8057	高松市田村町205-1
徳 島	徳 島S.S.	(088)622-7387	〒770-8052	徳島市沖浜2-37
高 知	高 知S.S.	(088)882-0546	〒781-8122	高知市高須新町4-1-43
愛 媛	松 山S.C.	(089)923-0372	〒791-8015	松山市中央1-4-12
九 州・沖 縄				
福 岡	福 岡S.C.	(092)431-1261	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	北 九 州S.C.	(093)921-3981	〒802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長 崎	長 崎S.S.	(095)862-5522	〒852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	〒857-1166	佐世保市木風町1467-2
大 分	大 分S.S.	(097)543-1422	〒870-0820	大分市西大道三丁目1番1号
熊 本	熊 本S.C.	(096)353-4536	〒861-4101	熊本市近見8-1-10
宮 崎	宮 崎S.S.	(0985)24-5401	〒880-0032	宮崎市霧島町3-59
鹿 児 島	鹿 児 島S.C.	(099)282-8818	〒890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖 縄	沖 縄S.C.	(098)898-3631	〒901-2224	宜野湾市真志喜1-13-16

製品についてのご相談や修理のご依頼は
お買い上げの販売店にご相談ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 22~23ページをご覧ください。	お客様ご相談センター  0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045) 450-8950 FAX (045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12